

令和2年度 下水道事業会計決算の概要

1 令和2年度の主要な取組

安全・安心なサービスを提供し続けていくため、下水道汚水事業、下水道浸水対策事業及び下水道施設老朽化対策事業などを推進しました。

○ 下水道汚水事業

見沼区島町地区（芝川第6処理分区）、岩槻区大字岩槻地区（岩槻第1－2処理分区）、緑区美園4丁目地区（浦和第1処理分区）、西区大字清河寺地区（鴨川第12処理分区）などにおいて、汚水整備工事を実施しました。

○ 下水道浸水対策事業

岩槻区美幸町地区（西町排水区）、大宮区北袋町2丁目地区（芝川右岸第1－2排水区）、北区別所町地区（鴨川第9排水区）、浦和区前地3丁目地区（谷田排水区）などにおいて、雨水整備工事を実施しました。

○ 下水道施設老朽化対策事業

大宮区吉敷町1丁目地区（芝川第10－3処理分区）、北区吉野町1丁目地区（芝川第5処理分区）、中央区下落合3丁目地区（鴨川第38処理分区）、浦和区東岸町地区（南部第10処理分区）などにおいて、管きょ更生工事などを実施しました。また、北区本郷町地区などにおいて、ポンプ場再構築工事を実施しました。

2 基本業務量

項 目		令和2年度	令和元年度	増 減
行政区域内人口	人	1,327,691	1,318,363	9,328
処理区域内人口	人	1,248,591	1,234,646	13,945
下水道普及率	%	94.0	93.6	0.4
水洗便所設置済人口	人	1,216,827	1,201,312	15,515
水洗化率	%	97.5	97.3	0.2
汚水処理戸数	戸	539,976	529,358	10,618
年間汚水処理水量	m ³	148,967,846	143,681,239	5,286,607
年間有収水量	m ³	120,569,458	117,134,949	3,434,509

3 収益的収支の状況

下水道事業収益につきましては、他会計負担金や長期前受金戻入などが増加したことから、前年度に比べて205,853千円増加しました。

下水道事業費用につきましては、流域下水道維持管理負担金や減価償却費などが増加したことから、前年度に比べて217,245千円増加しました。

● 収益的収支決算額（消費税込み） （単位：千円）

項目	令和2年度	令和元年度	増減
下水道事業収益	26,193,611	25,987,758	205,853
下水道事業費用	24,460,761	24,243,516	217,245
収支差引	1,732,850	1,744,242	△ 11,392

● 令和2年度の収益的収支内訳

収入	下水道使用料 184.9億円	他会計負担金 44.6億円	その他 32.4億円
支出	減価償却費・資産減耗費 132.7億円	維持管理費 85.6億円	支払利息等 26.3億円

4 資本的収支の状況

資本的収入につきましては、企業債などが減少したことから、前年度に比べて392,909千円減少しました。

資本的支出につきましては、建設改良費などが減少したことから、前年度に比べて609,573千円減少しました。

● 資本的収支決算額（消費税込み） （単位：千円）

項目	令和2年度	令和元年度	増減
資本的収入	13,083,600	13,476,509	△ 392,909
資本的支出	24,353,031	24,962,604	△ 609,573
収支差引	△ 11,269,431	△ 11,486,095	216,664

※ 収入が支出に対して不足する額は損益勘定留保資金などで補填しました。

● 令和2年度の資本的収支内訳

収入	企業債 114.6億円	国庫補助金 10.2億円	その他 6.0億円
支出	建設改良費 123.9億円	企業債償還金 119.6億円	長期貸付金 0.0億円

5 損益計算書

下水道事業収益	営業収益	下水道使用料	168.1億円	下水道事業費用	営業費用	維持管理費	78.4億円
		他会計負担金	44.6億円			減価償却費等	132.7億円
		その他営業収益	0.1億円		営業外費用		支払利息等
	営業外収益	長期前受金戻入等	32.3億円			当年度純利益	8.2億円
	特別利益	その他特別利益	0.0億円				

6 貸借対照表

資産	固定資産	有形固定資産	3,948.1億円	負債	固定負債	企業債	1,681.9億円
		無形固定資産	144.5億円		流動負債	引当金	6.3億円
			投資その他			0.2億円	企業債
		流動資産	現金預金			49.7億円	未払金
	未収金		35.7億円	引当金・預り金	1.1億円		
	前払金		18.3億円	繰延収益	長期前受金	997.6億円	
				資本	資本金	資本金	1,310.5億円
				剰余金	資本剰余金	1.9億円	
					利益剰余金	45.0億円	

7 キャッシュ・フロー計算書

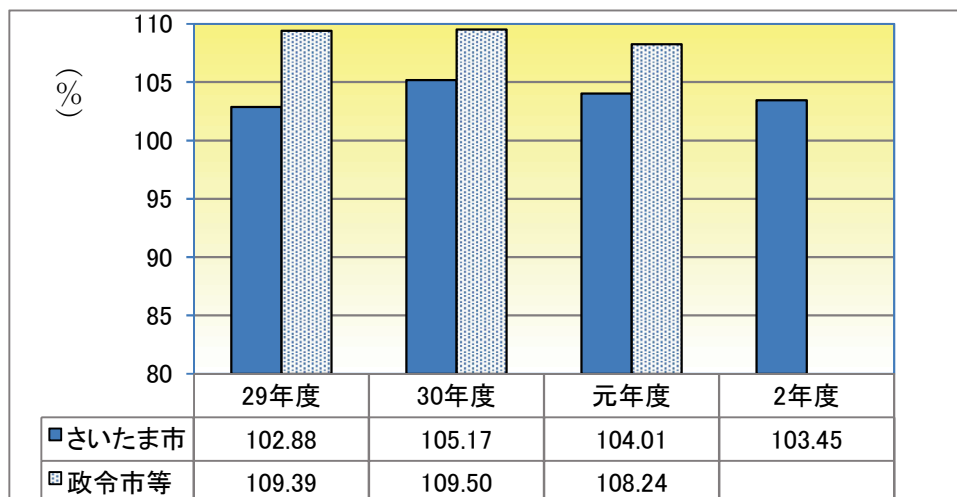
資金期首残高		53.5億円
資金増減額	業務活動によるキャッシュ・フロー	108.6億円
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 107.4億円
	財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5.0億円
資金期末残高		49.7億円

8 企業債残高

項目	令和2年度末残高	令和元年度末残高	増減
企業債	1,801.4億円	1,806.4億円	△ 5.0億円

9 経常収支比率

経常収支比率とは、下水道使用料や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標です。他の政令指定都市等の平均を下回っていますが、経常収益で経常費用を賄うことができています。



10 経費回収率

経費回収率とは、汚水処理に要した費用を、下水道使用料でどの程度回収できたかを示す指標です。下水道の経営は、経費の負担区分を踏まえて、汚水処理費を全て下水道使用料により賄うことが原則であり、経費回収率は下水道事業の経営を最も端的に表しています。

